

## 庄瀬小学校教育ビジョン 年度末達成状況と今後の取組

余寒の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、学校の教育活動にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和4年度庄瀬小学校教育ビジョンで設定した重点目標、進んで学ぶ子（知）、認め合い自信をもち行動する子（徳）、健康な体をつくる子（体）の達成に向けて取り組んできました。ここに年度末の達成状況をお知らせいたします。下記にお示ししました達成状況を踏まえ、来年度の教育活動に生かして参りたいと思います。

### 【進んで学ぶ子】

### ※【前期との比較】

#### 〈達成状況〉

- 他の児童とかかわり合いながら学習し、学びの深まりを自覚していると評価できた児童の割合（指導者の分析評価） → **94%（A評価）** 【6%↑】
- 授業との関連を意識した家庭学習に進んで取り組んでいると評価できた児童の割合（指導者の分析評価） → **90%（A評価）** 【5%↓】

#### 〈今後の取組〉

今年度は、重点目標「進んで学ぶ子」の育成を目指して、「子どもが主体的・協働的に学ぶ授業づくり」「学習効果が高まる単元構成力（単元デザイン力）の向上」の2点に焦点付けて取り組んできました。授業づくりでは、特に「かかわり合いやアウトプットにつなげるICT活用」を大切にしてきました。タブレットの活用で、自分や友達の考え方・体の動かし方（体育）・作成した作品（図工等）を共有することが容易になり、互いに考えや意見・感想を伝え合う「アウトプット」が活発になりました。また、友達の考えのよさに気付き、自分の学びに生かそうとする意欲も高まりました。課題として、良好なかかわり合いのための話し合いのスキル向上が明らかになりました。効果的なICT活用の方法について今後も研修を続けていきます。

家庭学習に関しては、家庭学習カードで取組状況を確認し、意欲付けを図ったりアドバイスをしたりしてきました。また、授業で学んだことの振り返りを家庭学習の課題にするなどして、授業との関連を図ってきました。しかし、2月の結果は、9月と比較して5%下がっています。家庭学習の取り組み方に個人差も見られます。一人一人への適切な支援と、学校とご家庭との連携をより一層深めていくことが必要です。各家庭におかれましては、家庭に戻ってからの学習が定着するよう、声掛けや環境づくりなどのご協力をお願いいたします。



## 【認め合い自信をもち行動する子】

### 〈達成状況〉

- 「自分や友達のよいところが分かる」と肯定的にとらえていると評価できた児童の割合（児童アンケート+指導者の分析評価） → **100%（A評価）【7%↑】**
- 「自分は困ったときに悩みを相談できる人がある。」と肯定的にとらえていると評価できた児童の割合（児童アンケート） → **92%（A評価）【2%↑】**
- 「自分はクラスやひまわり班で役に立ったり、必要とされたりしている」と肯定的にとらえていると評価できた児童の割合（児童アンケート） → **93%（A評価）【±0%】**

### 〈今後の取組〉

どの学級でも、帰りの会等で、友達のをさを認め合う活動を行っています。また、ここ2年間はコロナ禍のためペア学年やひまわり班での活動に制限がありましたが、今年度は感染対策に気を付けながら多くの活動を実施し、その中で人とのかかわりを大切にしてきました。それらの活動の後にも、互いの頑張りやよさを認め合ってきました。そのような日々の継続が、自己肯定感を高めることにつながっていると言えます。

また、上学年では主にひまわり班の活動で、リーダーとして、責任をもって自分の役割を果たしてきました。下学年も、クラスの係活動や当番活動に積極的に取り組んできました。自分の役割を果たすことが、全ての子どもの自己有用感を高めることにつながりました。

地域の方からは、いつも温かい声を掛けていただいたり、見守っていただいたりしています。地域をあげて、子どもたちを心豊かな子どもに育てていただいていることに深く感謝いたします。今後も、子どもたちの温かい人間関係づくりが継続するよう、全職員で支援していきます。

## 【健康な体をつくる子】

### 〈達成状況〉

- 「児童が進んで運動に取り組むように、体育の授業の中で様々な運動に親しませたり、体力が向上するような取組を工夫したりした」と肯定的にとらえている指導者の割合（指導者の自己評価） → **100%（A評価）【±0%】**
- チャレンジタイムに進んで参加し、運動に親しんでいると評価できた児童の割合（指導者の分析評価） → **98%（A評価）【2%↑】**
- 「健康あっぷカード」の11月の実施結果から「メディアの視聴時間」に改善が見られた児童の割合（健康アップカードの結果） → **76%（A評価）【7%↓】**

### 〈今後の取組〉

どの項目も高い評価となっています。運動会種目をペア学年合同で行ったり、学習カードを工夫したりしたことによって、楽しみながら進んで運動に取り組む姿が見られるようになりました。また、チャレンジ長縄大会に向けて、休み時間も友達と熱心に練習する姿が見られました（縦割り班での大会は残念ながら中止となりました）。目標達成に向かって力を合わせ運動する楽しさも感じているようです。これからも、運動の楽しさを味わうことができるよう指導の工夫を図っていきたいと思います。

11月の「健康あっぷカード」の取組から、メディアの使用時間に改善が見られた児童の割合が7%下がる結果となりました。また、「健康あっぷ週間」以外では、なかなか継続できないという課題もあります。学校では、機会をとらえて、インターネットやゲームなどのメディアの及ぼす弊害についても学習してきました。今後もよりよい生活習慣が身に付くよう、学校と家庭で協力して取り組んでいきたいと思います。

